教員評価結果［令和５年度実施分］の概要

１．評価対象期間

令和４年度（論文･著書については2020年～2022年の3年間分）

２．評価対象教員等

（単位：人）

区 分	評価対象教員						教員活動評価調書の提出状況			備 考
	基礎系	臨床系 病院系	看護系	一般系	センター系	計	提出者	未提出者	提出率	
教 授	11	16	8	3	4	42	42	0	100.0%	
准教授	9	18	5	5	3	40	40	0	100.0%	
講 師	7	41	3	1	3	55	55	0	100.0%	
助 教	21	81	9	4	5	120	120	0	100.0%	
計	48	156	25	13	15	257	257	0	100.0%	

３．総合評価結果

（単位：人）

区 分	評価対象教員	ＳＳ評定	Ｓ評定	Ａ評定	Ｂ評定	Ｃ評定	Ｓ評定（評価単位別）		備 考
教 授	42	0	7	32	2	1	7	16.7%	
准教授	40	0	6	33	0	1	15	7.0%	
講 師	55	0	5	50	0	0			
助 教	120	0	4	106	6	4			
計	257	0	22	221	8	6	22	8.6%	
	100.0%	0.0%	8.6%	86.0%	3.1%	2.3%			

［総合評価評定区分］

評定区分	評定の考え方
ＳＳ：特に優れている	活動、業績等が特筆すべき状況にあると教員評価委員会が特に認める場合
Ｓ ：優れている	ポイント総計を踏まえて総合的に判断し、活動、業績等が優れていると認められる場合
Ａ ：良好である	ポイント総計を踏まえて総合的に判断し、活動、業績等が良好であると認められる場合
Ｂ ：改善の余地がある	ポイント総計を踏まえて総合的に判断し、活動、業績等に改善の余地があると認められる場合
Ｃ ：改善を要する	ポイント総計を踏まえて総合的に判断し、活動、業績等に改善を要すると認められる場合、若しくは、合理的理由がなく「教員活動評価調書」が提出されなかった場合

４．領域別評価結果

（単位：人）

領 域	Ⅰ判定	Ⅱ判定	Ⅲ判定	Ⅳ判定	Ⅴ判定	※	計	備 考
教 育	31	96	55	73	2	-	257	
研 究	30	99	75	40	13	-	257	
診 療	18	70	68	-	-	101	257	
社会貢献 国際交流	38	66	7	-	-	146	257	
管 理 運営等	53	96	72	-	-	36	257	

［領域別評価判定区分］

判定区分	判定の考え方
Ⅰ：優れた水準にある	領域別にポイントが上位１０％以内の場合
Ⅱ：良好な水準にある	領域別にポイントが上位５０％以内の場合
Ⅲ：相応な水準にある	当該判定区分以外のいずれの区分にも該当しない場合
Ⅳ：相応な水準を下回る	「教育」「研究」及び「診療」並びに教授の「管理・運営等」が別に定める基準ポイントに満たない場合
Ⅴ：実績なし	「教育」「研究」及び「診療」並びに教授の「管理・運営等」のそれぞれに実績がない場合
※：評価対象外	評価対象外の領域、若しくは「社会貢献・国際交流」及び准教授等の「管理・運営等」のそれぞれに実績がない場合

５．教員評価委員会

委員長　奥 村 利 勝　教育、人事･組織、評価担当　副学長
委 員　古 川 博 之　財務、医師の働き方改革担当　副学長
委 員　川 辺 淳 一　研究、入試担当　副学長
委 員　東　信 良　医療、国際交流担当　副学長
委 員　藤 谷 幹 浩　産学連携担当　副学長
委 員　吉 原 秀 昭　事務局長